

# 会議録

会議の名称	令和5年度第3回川越市上下水道事業経営審議会
開催日時	令和5年11月15日(水) 午後3時00分 開会 ・ 午後5時05分 閉会
開催場所	川越市中央公民館 3階 軽体育室
議長(会長) 氏名 *敬称略	議長:青木 亮(会長)
出席者(委員) 氏名(人数) *敬称略	青木亮(会長)、佐野勝正(副会長) 村山博紀、吉敷賢一郎、柿田有一、片野広隆、桐野忠、小ノ澤哲也、中原秀文、 山崎宏史、新井康夫、山口陽子、棚沢利郎、横山三枝子、小池均 の各委員(15名)
欠席者(委員) 氏名(人数) *敬称略	宮岡寛、菅間和範 の各委員(2名)
事務局職員 氏名(職名)	大成一門(上下水道局長) 【財務課】 矢野雄一(課長) 【給水サービス課】 依田光司(課長) 【事業計画課】 小林武(上下水道局副局長兼課長)、目七里佳(副主幹)、 吉橋知一(主査) 【水道課】 新井賢一(上下水道局参事兼課長)、高橋亞弓(技士補) 【下水道課】 西村雅喜(課長) 【上下水道管理センター】 石戸祐仁(所長) 【総務企画課】 内田真(上下水道局副局長兼課長)、佐藤俊一(副課長)、 野原茂久(副主幹)、高梨義久(主査)、児玉陽介(主査)、佐々木亮(主査)
傍聴人(人数)	0名
会議次第	別紙のとおり

配布資料

(事前に配布した資料)

- 資料1 川越市上下水道事業経営戦略 令和4年度取組状況報告書
- 資料2 川越市公共下水道全体計画の変更について
- 参考資料1 川越市上下水道事業経営戦略 令和4年度取組状況報告書のポイント

(当日の配布資料)

- 会議次第
- 参考資料2 下水道に関するアンケート調査

議事の経過	
発言者	議題 ・ 発言内容 ・ 決定事項
	<b>1 開会</b>
議長	<p><b>【傍聴希望者の確認】</b> 事務局より傍聴希望者なしの旨報告がなされた。</p>
	<b>2 報告事項</b>
事務局	<p>(1) 川越市上下水道事業経営戦略 令和4年度取組状況報告について [資料1・参考資料1に基づいた説明がなされた]</p>
副会長	<p>事業の数字について、これを一体どうしていくのかという話が見えない。例えば、建設改良費が少なくなっているから今後は必要な設備投資を行っていくとか、来年どうするのかというところを聞きたい。料金回収率も低くなっている。経営戦略ということなので企業的な思考で整合性のあるストーリーを考えていただきたい。</p>
事務局	<p>料金回収率等については、当然対応していく必要がある。営業費用の約4割を占める県水単価のことも注視していかなければいけないし、公共的な事業として老朽化対策もしっかりしていかなければいけないと考えている。その現状として、計画の進捗状況の説明をさせていただいた。</p> <p>令和元年度に策定した経営戦略の段階で想定されていなかったコロナによる変化等を踏まえた上で、来年度、経営戦略を改定する際に慎重に検証していきたい。</p>
副会長	<p>リスクを捉えた努力をしていかないと、企業は潰れてしまう。ただ行政としての限界はある。「安全な生活を送る」ための手段を提供するという使命を達成するために、収益はどうあるべきか、また外的な要因としてのリスクを早く捉えて、計画に取り込んでもらいたい。</p>
事務局	<p>来年、経営戦略の中間見直しに向けて、経営状況を検証しやるべきことを明らかにした計画として諮問させていただきたい。</p>
委員	<p>料金回収率と経費回収率は、家計に例えると、毎月入ってくる給料よりも家計費の方が高くなっているということか。</p>
事務局	<p>収入については、毎月の収入以外のものがある。例えば水道では、水道</p>

	<p>メーターを新規に取り付ける際に水道利用加入金が発生する。実際の経営上の数字と、料金回収率、経費回収率の指標値は違う捉え方になる。</p>
委員	<p>その辺が分かりにくい。料金回収率というと、水道料金がもらえてないように聞こえてしまう。使用者がちゃんと払っていないのではないかといった言葉に見える。</p>
事務局	<p>給水に係る経費がその料金で賄えているかを見るので、債権の回収とは違う。</p>
委員	<p>県水単価の動向とあったが、市は県水の料金を下げてくださいと言う努力をするのが普通なのではないのか。</p>
事務局	<p>市としては「県水単価が上がりますよ」と言われて「いいですよ」と言っているものではない。</p>
議長	<p>基本的に水道事業は独立採算なので事業体として収支均衡させる必要がある。もし中長期的に収支が乖離するということになればいろいろ考えなければいけない。</p> <p>人口減少や節水機器の導入等の傾向もあり、様々な要因も出てきているので、次年度以降、上下水道局の方から対応策などの提案があるのではないかと考えている。</p>
副会長	<p>人口減と節水で単位あたりの固定費の負担が大きくなっていくことになる。だから今後も改善しなければ、料金単価を上げざるを得ないというのが現実である。</p> <p>それと加入金については、人口減少に伴って減っていくため、いつまでも今の料金で賄うわけにいかないという問題が生じることになる。</p> <p>それから、県水もいろいろとダム建設の負担金や、老朽化した水道施設の維持管理費があるので、県の方もコストがシビアになっている。</p>
委員	<p>これまでの議論は、資料に出ていないところの議論だと思われる。それを議論するのであれば、議論するベースを作っていただきたい。資料を見る限りでは経営は順調ですので極度な負担を求めるとするのは、慌ててやる必要はないのではないかと受けとめた。</p> <p>経営に関する問題意識を持たせたいと思うのであればそういうベースを作る必要があるので、その場合には、どこかの段階で出していただけるとありがたい。</p>
副会長	<p>全く同感である。収入が減って内部留保が溜まっていくのは矛盾してい</p>

	<p>る。通常はこんなことはありえない。来年度以降はそのような資料にした方がよい。</p>
議長	<p>他に意見がなければ、5分ほど休憩を入れたい。</p>
	<p>報告事項  <b>(2) 川越市公共下水道全体計画の変更について</b></p>
	<p>[資料2に基づき、川越市公共下水道全体計画の変更について説明]</p>
委員	<p>県の上位計画の変更が若干前倒しになったという認識で良いのか。</p>
事務局	<p>今年度改定があり、先月市の方に通知が来た。</p>
委員	<p>1枚目の図はともかく2枚目のこの図は、小さくてかなり見づらい。もう少し大きい方が自宅等を確認できるのではないか。縮小される今回の計画区域は、この赤線の中という認識で良いのか。</p>
事務局	<p>今回の4,543.2haについては、生活排水処理基本計画において、公共下水道区分として明示された区域の境界線(道路)の反対側も場合によっては接続可能な範囲としているため計画より少し広い範囲になっている。赤線の中のエリアは、現在行っている事業認可を取得した計画区域も全てカバーしているということになる。</p>
委員	<p>これからの企業誘致だとか、そういった際に計画区域を変えるというのは、この赤線の中のみが対象ということか。</p>
事務局	<p>仮に今後、川越市が産業団地整備等を行う場合は、市街化区域に編入されるので、その場合は区域を広げていくことになる。それから下水道の接続に関して費用対効果が見込める開発等についても、区域を広げるということで埼玉県と協議が整っている。</p>
委員	<p>アンケートの調査対象は13地域とのことだが、あれは調整区域のごく一部であり、大半の方に対してアンケートを行っていない。調整区域の意見は大きく三つに分かれることになる。排水先がなく今も乳白色の水が道路(側溝)にどンドン流れているような地域の農家の方などは、下水道がないと困るだろうし、一方で現在の浄化槽で排水先がある人たちは、生活には困らないからこのままで良いとなり、敷地が広い人は、負担金の額が大きくなるから、むしろ公共下水道に来て欲しくないとなる。だから排水先</p>

	<p>の確保という部分については、しっかりと上下水道局に先頭切ってやってもらいたい。</p> <p>アンケートは、本当に市街化調整区域の中のごく一部の人の声である。これからパブコメを行うとのことだが、それも目にするのはごく一部の人で終わってしまう。それ以外の公共下水を待っていた人たちは、何も知らないまま、今回一気に計画から外れるわけなので、どういう形で市民の方々に周知をしていく考えなのか、まず教えてもらいたい。</p>
事務局	<p>今月からパブコメを行うことと並行して市の三部協議（環境部、上下水道局、建設部）の中で、合併浄化槽への転換に関する支援策について継続して協議を行う。計画から外れる13地区への個別説明等は予定していないが、条例改正が終わった段階で「上下水道局だより」を使って報告をしていきたい。</p>
委員	<p>生活排水処理基本計画の計画期間があとわずかとなり、シワ寄せが一気に来ている。対象地域の人たちは、高齢化が進んでいて、やがて空き家になる可能性もある。本当に真剣に話を聞きながらしっかりと取り組んでももらいたい。</p>
副会長	<p>アンケート等の調査の対象の931件というのは、影響のある地域全部なのか。またアンケートのとり方はどのようなものだったのかお聞きしたい。</p>
事務局	<p>アンケートは13地区にある一般住宅、それから事業所に対して全て個別に配布している。上下水道局が実施したアンケートで「こちらの地区は公共下水道から合併処理浄化槽に転換します」ということは言っていない。</p>
副会長	<p>期待を持たれても困るから、下水道整備をするということも公表していないということか。</p>
事務局	<p>これまで問い合わせがあれば全体計画の外側か内側かというのを回答していた。計画書の中にも区域図というのは入れていない。あくまで面積や1日最大汚水量などの記載しかないので、正式には計画を公表してないことになる。</p> <p>その中で国の方針で生排計画が見直されて、合併処理浄化槽でも水洗化を急ぐべきだという方針が示されたので、公共下水道の全体計画も見直すことになったということでご理解いただきたい。</p>
副会長	<p>確認だが、今回アンケート調査をした地域以外は、計画の見直しには影響ないということか。</p>

委員	全然違う。アンケートをとっているのはごく一部だけである。
副会長	その部分が一番聞きたかった。影響のある地域全部なのですかと聞いたのはそういう意味だった。このやり方には疑問がある。今回の内容は下水道を待っていた人にとっては、失望感が大きいので、できれば全戸を対象にアンケートをするくらいの意気込みが必要だったのではないか。
事務局	元々全体計画に入っていないところに住んでる方もいらっしゃるので、そういった方にはアンケートはしていない。
委員	計画区域の中でもアンケートの対象になってない所はいっぱいある。 アンケートの実態は全体計画の調整区域全体に配っているのではなく、その中で下水道管がすぐ近くまで入っている13の場所を選んだということで、それ以外の全体計画の調整区域に住んでいる方もいっぱいいるが、その人たちにはアンケートを一切行っていないということで良いか。
事務局	おっしゃるとおりである。
委員	新計画の計画人口は出ているが、住戸数がどれぐらいかお聞きしたい。
事務局	平成29年度現在の現況ということで、公共下水道と農業集落排水、合併処理浄化槽、単独処理浄化槽、くみ取り便槽の利用者の人口は、把握している。
委員	そこが知りたいわけではなく、計画の差分のところに住んでいる住戸数を把握しているのかを知りたい。
事務局	それは住民登録で把握している。
委員	そうすると対象者は特定が可能で、「やるかやらないか」の問題ということになる。また、先ほど費用対効果の話があったが、例えば小堤には小堤団地、小堤東団地という自治会があり、ここは100世帯単位の高密度の住宅地であるため、そういった意味では、費用対効果が見込まれることにもなるが、今回除外される地区で単純に費用対効果という話をする、住民の方は納得しづらいと思うがいかがか。
事務局	直接そういう観点だけでお話しすると、誤解を招いてしまうと思われる。現状としては国の方針が大きく変更されたというところである。 まずは令和7年度までに公共の部分についてはしっかりとやりきるというのが局の責務であり、また、見直された排水先が乏しい地区13地区に関

	<p>しては、引き続き上下水道局が当事者として関わり支援をしていくというのが今の方針ということになる。</p>
委員	<p>この図面をきちんと住民の皆さんに示すのかどうかをお聞きしたい。除外される部分は残念ながら公共下水という意味では切り捨てられるということを感じてもらうことは大事だと思う。</p>
事務局	<p>パブコメの中にはこの図面も付ける予定である。</p>
委員	<p>拡大できて自分の家のはっきりわかるようなものをつけていただきたい。</p>
副会長	<p>これまで問い合わせがあれば説明していたということだが、本来は全部知らせないといけないのかなと思う。それを知らなかったのだから、勝手だっというのはいかがなものか。元々細かい計画を作ってなかったと言うのなら構わないが、作っていたのだとしたら行政としてどうなのかなと思う。それからアンケートは本来送るだけじゃなくて、個別訪問が必要である。アンケートでは、特定の情報だけで傾向はこうだから我々はこういうふう判断するというのが一番危険である。</p>
事務局	<p>おっしゃる通りである。一部に対して行ったアンケートの意見に対してどうやって地元で説明していくかという課題は残っている。いずれ対象地域に説明に入らせていただくので、その中でしっかり説明していきたい。</p>
委員	<p>今回は「報告事項」ということですので、変更案の報告を受けたという理解でよろしいか。</p>
事務局	<p>そのとおりである。今回は、県との協議等を含めてここまで作業が整ったということで報告させていただいた。今後、パブコメを行っていくものになる。</p>
委員	<p>このアンケート調査の数字で回答数が「484」ということで、アンケートのまとめの数字が「496」とあるが、これは複数回答だったということか。ほかにも合計が合うところと合わないところがあるが、この辺りは複数回答でやったということか。</p>
事務局	<p>おっしゃる通りで、複数選択ということになる。</p>
委員	<p>私は除外された地域に住んでるが、この地区は自治会長さんが要望を出してこの計画区域に入ったと聞いている。当時の地元の議員なども、この</p>



	<p>地域はいずれ公共下水道が入ると思っている方が多い。そう考えたときに計画変更は大きなショックでもあるし、当時の自治会長さんの信用問題にも関わることになる。そういうことがないように各地域で丁寧に今回このような計画になった経緯等をしっかり伝えてもらいたい。</p>
事務局	<p>これまでも地区の自治会長さんに頭を下げて、説明させていただいた。大変申し訳ないというのが局の見解である。</p>
委員	<p>浄化槽でも1割ほどは、まだ単独処理浄化槽があるとの話もあるが、環境負荷は合併処理浄化槽の8倍もある。今後公共下水が入らないこととなった場合は、まず環境への負荷が高い単独処理浄化槽をどうにかしていきけるような取り組みをしていただきたい。</p>
議長	<p>計画変更に関しては、地域の方に当事者にもう少し丁寧かつ時間をかけた説明をしていただければと思う。 他に質問等がなければ、これで本日の議題は終了となる。</p>
	<p><b>質問なし</b></p>
議長	<p>では、次第の3のその他の方に移らせていただきます。</p>
	<p><b>3 その他</b></p>
議長	<p>それでは事務局からお願いします。</p>
事務局	<p>事務局から「その他」につきましてございませんが、局長より一言ご挨拶をさせていただきたい。</p>
	<p><b>【上下水道局長あいさつ】</b></p>
	<p>「その他」について何かご意見等ございますか。</p>
委員	<p>来年の7月まで開催しないのか。</p>
事務局	<p>今年度の予定は、今日をもって最後ということになる。</p>
委員	<p>今年度というのは、3月までということか。</p>

事務局	今回の任期中の審議会は最後となる。
委員	パブコメの報告はしないのか。きちんとやったほうがいい。
事務局	分かりました。そうでしたら、また（開催を検討する）。
副会長	追加になる場合は早めに連絡をいただきたい。
議長	議長の職は一応ここまでとし、事務局の方でまとめをお願いします。
事務局	それでは、閉会の言葉を佐野副会長よりお願いします。
	<b>4 閉会</b>
	閉会のことば（佐野副会長）